

市報 やまぐち

2025

2/1

February
No.450



特集	若者が生き生きと働ける “魅力あるやまぐち”へ	2
特集	ごみの行方	6
	■ 市政トピックス	8
	■ やまぐちの魅力 再発見 Rediscover Yamaguchi!	9
	■ イベントカレンダー	10

若者が 生き生きと働ける “魅力あるやまぐち”へ

少子高齢化や人口減少、若者の転出超過が進む中、若者が生き生きと働き活躍できる、魅力的な「働く場」を確保することは、地域や地元産業の活力を維持・向上するために不可欠です。

今回は、本市で働きたい学生やUターン希望者等の、若者の就職や新たなチャレンジを応援する取り組みをご紹介します。

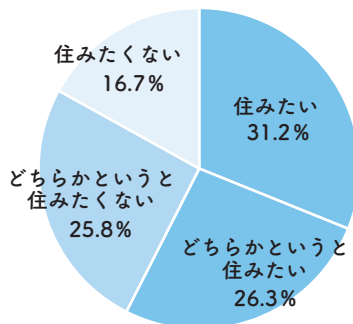
- 市内の就職促進・企業の人材確保支援
起業の支援に関すること
☎ ふるさと産業振興課 ☎ 083-934-2645
- 地域おこし協力隊
企業訪問バスツアーに関すること
☎ 農山村づくり推進課 ☎ 083-934-4646



一方で、令和6年3月に卒業した市内大学生の県内就職内定率は、32.6%で、過去5年で最も低くなっています。また、県内の大学3年生に行った県のアンケートによると、およそ4人に1人が「県内企業を全く知らない」と回答しており、大学生に県内企業のことを十分に理解されていないことが、市内・県内での就職が進まない要因の一つと考えられます。

市では、「やまぐちで暮らしたい、働きたい」という思いを持つ学生やUターンを希望する方に、本市で働く魅力を感じてもらうため、市内企業の情報発信・人材確保の支援や、市内での就職や起業を応援する取り組みなどを行っています。

あなたは、卒業後も山口に住みたいと思いますか？



左の図は、市内の大学・短期大学・大学院に通う学生約1000人に行ったアンケートの結果です。「卒業後も山口に住みたい（どちらかというに住みたいも含む）」と回答した人の割合は、57.5%でした。

地元就職の促進に向けて

市では、地元の企業を知ってもらい、将来的に地元山口で働きたい、という思いを育てるため、中学生や高校生、保護者等を対象とした職業体験イベント「やまぐち未来のしごとフェスタ」を開催しています。

昨年12月の会場開催には、45の企業・団体が出展し、約3000人に来場いただきました。

また、オンライン開催として、山口県央連携都市圏域内のさまざまな企業・団体や、働く「人」を紹介する企業紹介動画を、ウェブページ（下の二次元コード）で公開中です。

ぜひご視聴いただき、企業研究や業界研究にご活用ください。



▲「やまぐち未来のしごとフェスタ」でバスの運転シミュレーション体験を行う様子

地元就職した若者の声

株式会社 秋川牧園
製造（食品加工）部門
（令和6年入社）

きはら ひろき
木原 浩暉 さん



Q. 就職された企業を知ったきっかけを教えてください。

A. 地元 に愛着があり、家族や友人が身近にいる環境に惹かれ、県内就職を考えていました。食品について学んでいたこともあり、食品関係の企業への就職を希望していて、合同会社説明会で興味を持ったのがきっかけです。実際に会社見学に行って、食品に対する独自のこだわりや、生産・加工・販売等の幅広い分野の仕事があるところに魅力を感じました。

Q. 仕事の中で、どのようなことにやりがいを感じますか？

A. 自分にできる業務がだんだん増えてきて、特に繁忙期前から、上司の方にいろいろな仕事を任されるようになったことで、周りから頼りにされている、というやりがいを感じています。

Q. 働く中で感じた、地元で就職する良さがありますか？

A. 家族や友人など身近な人とのコミュニケーションが取りやすいこともメリットのひとつだと思います。

自分が生まれ育った場所で働くことを通して、地域の活性化に貢献したいという思いがあったので、自分の希望に合った仕事ができていると感じています。



市では、市内外の学生やユーザー就職を希望する方などに対し、「やまぐちしごと応援サイト」において、市内企業の情報を発信しています。

サイトでは、市内企業の特長やPR動画、先輩社員のメッセージのほか、就職活動に役立つセミナー・イベント情報なども掲載しています。

本市での就職を考えている学生や保護者の方、再就職やユーザーを希望する方も、ぜひご利用ください（下の二次元コードからご覧ください）。



市内企業の魅力を発信

市内の企業情報を カンタン検索！

約200社の登録企業の中から、業種や特長、各種認定制度などの絞り込み検索機能で、あなたの希望の条件に合う企業を簡単に検索できます！

◀「やまぐちしごと応援サイト」企業検索ページ

企業の人材確保を応援

市内企業のさらなる魅力向上や人材確保を図るため、大学生を対象とした企業訪問バスツアー「ロケハンツアー」を、今年度初めて開催しました。

このツアーは、大学生が市内企業を実際に訪れて取材を行い、学生目線で企業の潜在的な魅力や強みを発見することを目的としています。

今後、学生から各企業へ、企業の魅力向上や採用活動に対する提案のプレゼンテーションを行い、学生目線で取材した企業の魅力をまとめた情報誌を作成する予定です。

完成した情報誌は、「やまぐち」と応援サイト」に掲載予定ですので、ぜひご覧ください。



▲「ロケハンツアー」で看板制作を見学する様子

人材確保に取り組む企業の声

株式会社
オオバクリエイティブ
経営管理部

さかの あやね
坂野 綾音 さん



Q. 採用活動の際、どのようなことに力を入れていますか？

A. 日頃から会社見学やインターンシップ等の受け入れを積極的に行っています。ウェブサイトのみでは伝えきれない部分も多いため、実際に仕事の様子を見て、知っていただく機会をできる限り提供しています。

ウェブサイトやInstagramでは、社内行事の様子や新入社員の声などを発信し、より身近に感じてもらえるよう工夫しています。

Q. 「ロケハンツアー」の取材を受けられて、いかがでしたか？

A. 学生さんにこういった形で取材してもらうこと自体が初めてで、具体的な業務内容や採用に関する課題など、普段の会社見学とは違った視点での質問もいただきました。

人材を集めるためにはどうしたら良いのか、また、自分たちの会社がどのような仕事をして、社会と関わっているのか、改めて考える機会になったと思います。

Q. 本市での就職を考えている学生へメッセージをお願いします。

A. まずは、地域にどんな会社があるのかを知っていただくことが第一歩だと思います。弊社を含め、いろいろな企業が情報発信をされています。少しでも興味があれば、気軽に問い合わせや見学をしていただければと思います。

企業訪問バスツアー参加者募集！



山口県央部には、産業団地への誘致企業や地域できらりと輝く地元企業など、魅力ある企業がたくさんあります。本格的な就職活動を始める前に、山口で働く自分をイメージしてみませんか？

目的 就職活動を控えた大学生等を対象に、実際に働いている方々との交流を通じて、地元企業の魅力の周知や山口県央部での就職促進を図ります。

対象 山口県央部での就職を考えている大学、短大、高専、専門学校の学生

日程 3月11日（火）防府・美祢・山陽小野田コース } 各日20人（最少催行人員5人）
3月12日（水）山口・宇部・萩コース

山口県央部の魅力ある企業を訪問するチャンス！

ツアーの申し込みは2月16日（日）までです！ふるってご参加ください！

訪問企業など
ツアーの概要は
こちらから ▶



新たなビジネスを応援

本市で働きたい若者やU・Iターン希望者にとって、市内企業への就職のほかにも、新たなビジネスに挑戦することも選択肢の一つです。

市では、起業・創業による新たなチャレンジをしたい方を応援する、スタートアップ支援などの環境づくりを進めています。

KDDー維新ホールの産業交流スペースメグリバでは、さまざまな相談会やセミナーを開催しています。

「起業に興味がある」「自分のアイデアを聞いてほしい」など、具体的な相談に対する支援も行っていますので、ぜひご活用ください。



▲ 起業を考えている方向けのワークショップの様子

声 Uターンして起業した若者の

かわかみあつし

河上 敦 さん

なるみ

成美さん ご夫妻

敦さんは、山口市生まれ。神奈川県に3年間勤務し、令和3年に地域おこし協力隊としてUターン。令和6年にサウナ & カフェ VIEHAttÄVÄ を開業。



魅力が詰まった山口に潤いを

協力隊として活動する中で、山口にはたくさんの魅力があるのに、足を運んでももらえないうきかけが少ないように感じていました。

そこで、「私たちの取り組みを通じて山口を知り、実際に来てもらい、食や自然を楽しんでもらいたい」という思いから、徳地の石風呂にも関連する“サウナ”を中心とした癒しの空間を徳地にオープンしました。

サウナに入りながら徳地の自然や歴史を感じてもらい、また、地元食材を使用したカフェメニューも堪能してほしいです。

ビジネスチャンスはたくさん転がっている

地方には、たくさんの魅力が眠っていると感じます。私たちも空き家や自然などの地域資源を活用させていただいて起業しましたが、まだまだ活用できる余白はたくさんあります。大きなビジネスプランを立てるといよりは、今ある資源を上手に活用しながら、できることから少しずつ始めることが大事です。地域のさまざまな方と交流し、地域を知ること、こうした余白も見えてくると思います。

VIEHAttÄVÄ
についての
詳細はこちら
から



message



ふるさと産業振興課
主任主事 権代優里

今後引き続き、若者の市内就職の促進や、新たなビジネスのサポートに取り組むことで、若者が「地元で働きたい」「この地域に住み続けたい」と思えるまちづくりを進めていきます。

本市では、都市圏への若者の転出超過の傾向が続いており、人口減少や労働力不足が課題となっています。数々の選択肢の中から本市で暮らし、働くという選択を考えていただくためには、若者が本市で活躍できる環境を整えることが重要であり、仕事にやりがいを感じ、希望に合った働き方ができるような魅力的な働く場を確保する必要があります。

今回ご紹介した取り組みのほかにも、本市では、福利厚生充実等による企業の魅力向上に向けた支援や、積極的な企業誘致による雇用の場の創出などにも取り組んでいます。

写真：埋め立て処分を行う
山口市大浦一般廃棄物最終処分場

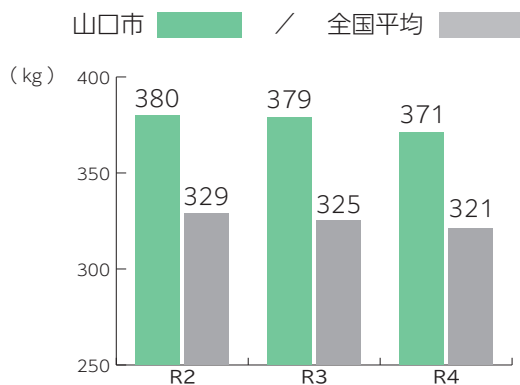
— 特集 —

ごみの行方

問 資源循環推進課 ☎ 083-941-2173



図1 市民一人当たりにおける
年間のごみ排出量



山口市のごみ事情

令和2年度から4年度にかけての一人当たりのごみ排出量を見ると、山口市では、全国平均よりも多くごみを排出していることがわかります(図1参照)。

私たちが排出しているごみは、どのような形で処理されていくのでしょうか。家庭や事業所から排出されたごみは、収集された後に焼却などのさまざまな過程を経て、最終的に「リサイクルして再利用される」か「埋め立てられる」かの、どちらかの方法で処分されています。

ごみが行きつく先は2つ

山口市のごみ処理の仕組み

ごみ集積所に排出されたごみは、ごみ収集車で収集された後、焼却したり、細かく砕いたりといった中間処理を経て最終処分されます。山口市の埋め立て処分量が少ない理由は、ごみ処理の仕組みにあります。この仕組みについて、次のページで詳しく紹介します。

図2 市民一人当たりにおける
年間の埋め立て処分量 (R4実績)



一方で、年間の一人当たりの埋め立て処分量を見ると、山口市では、全国平均よりもごみの埋め立てが少ないことがわかります(図2参照)。一見、矛盾しているように見えるこれらの結果ですが、どういうことなのでしょう。

仕組み
その1

燃やせるごみは焼却し、残った灰はリサイクル

燃やせるごみは、焼却処理され、約9割の部分が減量化（気化）されます。

また、残った1割の焼却灰は、セメントの原料としてリサイクルされます。他の自治体では埋め立て処分されることが多い焼却灰を資源として活用することで、埋め立てごみを減らしています。



焼却炉の様子

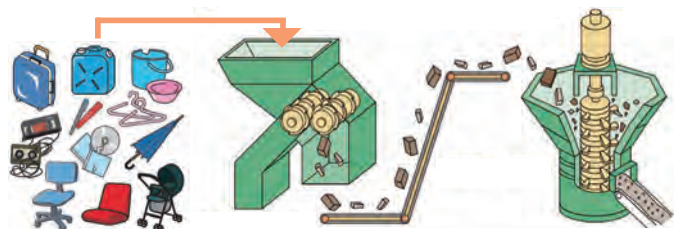


セメントとしてリサイクルし、コンクリートの材料に使用

仕組み
その2

燃やせないごみは 砕いてさらに分別

燃やせないごみは、細かく砕かれ、金属の部分と可燃物の部分を回収します。回収した金属はリサイクルされ、可燃物は焼却処分されます。そして、残りの不燃物の部分は、最終処分場で埋め立てられます。



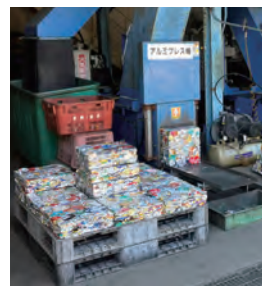
仕組み
その3

資源物は 分別してリサイクル

市民の皆さんに分別していただいたびん・缶・ペットボトルなどの資源物は、圧縮処理され、リサイクルする工場に出荷されます。

私たちが分別して排出することで、ごみではなく、リサイクルされる資源として処理されます。

缶を圧縮処理する様子▶



分別ルール「知っ得」

びんの紙ラベルは 剥がさずに出して OK

ふたを外し、中を水洗いします。



ペットボトルのリングは 付いたまま出して OK

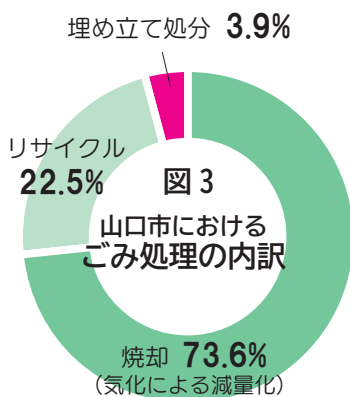


ふたとラベルを外し、中を水洗いします。

プラ製容器包装は 水洗いで目に見える汚れが落ちていれば OK

洗剤やお湯で洗う必要はありません。

※汚れが落ちない場合は燃やせるごみとして排出してください。



正しい分別がごみを減らす

上記の仕組みにより、市内で排出されたごみは、9割以上が減量化・リサイクルされ、残りの3.9%のみが埋め立て処分されています（図3参照）。しかし、適正に分別されていないごみが増えると、リサイクルされる量が減り、埋め立て処分を行う割合が増えることにつながります。私たちが一人一人が正しく分別して排出することが、埋め立て処分となるごみを減らすことにつながります。

市報2月15日号
と同時配布



分別方法を確認しよう

令和7年度版から、「ごみ・資源収集カレンダー」をリニューアルします。これまでどおり収集日をカレンダー形式で確認できるほか、ごみの分け方・出し方や、間違いやすい例をイラストで紹介するなど、より分かりやすく紹介していますので、ぜひご活用ください。

市政トピックス



ウェブサイト
でも公開中

西京高校の駅伝部が 市長を表敬訪問されました

西京高校の男子駅伝部・女子駅伝部が、11月に開催された山口県高等学校駅伝競走大会でそれぞれ優勝し、12月22日（日）開催の男子第75回、女子第36回全国高等学校駅伝競走大会の出場報告のため、12月13日（金）に市長を表敬訪問されました。全国大会には、男子駅伝部は32年連続37回目、女子駅伝部は8年連続33回目の出場となります。



▲記念撮影の様子

男子駅伝部主将の上田悠晴さんは「全国大会8位入賞を目標に、日々練習に励んできた。山口県代表という誇りを胸に全力を尽くしたい」、女子駅伝部主将の佐々木凜さんは「1年から3年まで力のある選手がそろっており、県大会では県記録を更新することができた。全国の舞台

では、楽しむとともに、目標に向けて頑張りたい」と、意気込みを語りました。

市長は「県大会後のインタビューで、上田主将と佐々木主将のお二人が、全国大会でも8位入賞できるチームであると、高らかに宣言されており、心強いと感じた。平川地域の方はもちろん、市民、県民の方々が応援していると思うので、しっかりと頑張っに入賞を目指してほしい」と活躍に期待を寄せました。
図 スポーツ交流課 ☎ 083・934・2875

令和7年（令和6年度）の 二十歳のつどいを開催

1月12日（日）、令和7年山口市二十歳のつどいを山口市民会館で行いました。振り袖やスーツに身を包んだ参加者1454人が式典に出席し、会場のいたるところで、再会を喜び合う姿が見られました。

式典で、市長は「自分自身の可能性を信じ、これまでの価値観や常識にとらわれず、夢や希望の実現に向けて何事にも積極果敢にチャレンジしてほしい」とエールを送り、二十歳の節目を迎えた参加者の門出を祝

福しました。



▲会場の様子

また、参加者を代表し、大川拓真さん（小郡地域出身）と本廣虹歩さん（嘉川地域出身）がそれぞれ、「家族・友人・地域の方々など、私たちを見守り、共に歩み、この先も歩んでいく人たちを大切にし、支えあっていきたい」、「この先、どのように人生を歩み、社会に貢献していくべきか真剣に考えながら、夢や目標に向かって努力し続けていきたい」と、これまで支えてくださった方々への感謝と二十歳を迎えての決意を発表されました。



▲二十歳を迎えての決意を
発表された大川さん（左）
と本廣さん（右）

図 社会教育課 ☎ 083・934・2865

表紙の写真

湯田温泉にスケートリンクが登場

表紙の写真は、本年6月にオープンを迎える湯田温泉こんこんパークのプレイベントとして、井上公園（湯田温泉二丁目）で開催された「キッズスケートパーク」の様子です。

これまで、市内にはなかったスケートリンクを設置することで、湯田温泉の冬に新しい賑わいを生み出そうと企画したものです。スケートリンクは、氷を使わず、樹脂製のパネルを敷設しています。スケートリンクを覆う大屋根テントのおかげで、時折降る雨にすることなく、保護者や子どもたちはスケート体験を楽しんでいました。

全天候型の大屋根広場や温浴施設などを活用し、湯田温泉という本市が誇る地域資源を、あらゆる世代の市民や観光客にもっと身近に感じていただき、人々の交流を生み出す湯田温泉こんこんパーク。オープンが待ち遠しいですね。
問 広報広聴課 ☎ 083・934・2753



▲6月にオープンする湯田温泉こんこんパーク。

詳細は、ウェブサイト（右の二次元コード）をご覧ください。▶





美祿 秋吉台山焼き

炎の帯と煙がカルスト台地を包む日本最大規模の野焼きです。黒くなった草原は、5月には一面の新緑で覆われます。



▲詳細はこちら

日時 2月16日(日) 9時30分～13時頃
場所 秋吉台国定公園(秋芳町秋吉 11237-862)

問 秋吉台山焼き対策協議会事務局
☎ 0837-52-1115

萩 萩・椿まつり

約 25,000 本のヤブツバキが可憐な花を咲かせます。土・日・祝日には、無料ガイドなどが楽しめます。



▲詳細はこちら

期間 2月15日(土)～3月16日(日)
場所 笠山椿群生林(椿東越ヶ浜 虎ヶ崎)

問 「萩・花ごよみ実行委員会」事務局
(萩市観光課内) **☎** 0838-25-3139

津和野 津和野藩の教育と文化
ー藩主亀井矩貞・矩賢の時代ー

津和野藩の文化興隆に貢献した、江戸時代中後期の2人の藩主(7代・矩貞と8代・矩賢)の事蹟や作品を中心に、津和野藩の文化興隆についてご紹介します。



▲詳細はこちら

期間 2月19日(水)～5月19日(月)
所 問 津和野郷土館(森村口127)
☎ 0856-72-0300

山陽小野田 不二輸送機ホール開館 30 周年記念事業
立川志らく・立川談笑二人会

テレビ番組でおなじみの立川志らくさん、先鋭でスリリングな爆笑落語を標榜する立川談笑さんによる落語二人会を開催します。※未就学児の同伴・入場はご遠慮ください。



▲詳細はこちら

日時 2月15日(土)14時開演
所 問 不二輸送機ホール大ホール(大字郡 1754) **☎** 0836-71-1000

宇部 TOKIWA グルメフェス

キッチンカーや飲食店が大集合。もちまきなどステイジイベントも日ごとに開催。



▲詳細はこちら

期 間 2月22日(土)～24日(月・休) 10時～16時
(荒天中止)

場所 ときわ遊園地芝生広場(則貞 3-4-1)
問 LiNo **☎** 080-6664-0337

防府 梅まつり

防府天満宮の境内には、しだれ梅や紅白梅など約 16 種類 1,100 本の梅の木があります。梅の開花時期に「梅まつり」を開催し、さまざまな行事を行います。



▲詳細はこちら

期間 2月16日(日)～3月2日(日)
所 問 防府天満宮(松崎町 14-1)
☎ 0835-23-7700



やまぐちの魅力 再 発見

Rediscover Yamaguchi!

vol.9

#3, Yamaguchi, Japan 52 Places to Go in 2024

今、世界的に注目を集める山口市。その魅力を再発見すべく、注目スポットやそこに携わる「人」の声をご紹介していきます。

問 広報広聴課 **☎** 083-934-2753



中原中也記念館 - 愛され続ける中也の魅力

これが私の故里だ(「帰郷」より)

湯田温泉生まれの詩人・中原中也(1907-1937)。瑞々しい感情表現や口ずさみたくなる独特のリズムで、国内外を問わず多くの人々に愛されています。

山口から京都、東京へと移り住み、鎌倉で亡くなった中也。東京から帰省した際に詠んだといわれている「帰郷」では、懐かしさと疎外感という、故郷への複雑な思いも綴られています。それでも、最晩年には山口に戻ることを決意していたという中也に、山口はどんなまちに映っていたのでしょうか。

今回は、中也の生家跡にある中原中也記念館で、さまざまな視点から情報発信している学芸員に中也の魅力を伺いました。

Interview.

いけだ まこと
池田 誠さん

中原中也記念館 学芸員

「リズムで感じる詩の世界」

中原中也の詩の魅力は、独自の感性で表現された世界で、読むたびに発見があることです。また、家族や恋人、友人との関係性や、影響を受けた文学者など、彼の生涯や詩が詠まれた当時の背景を知ること、詩の見え方が変わったり、より奥深さを感じることができます。

記念館では、訪れる皆さんに中也の詩や歩んだ人生に触れていただくよう、所蔵する資料や多彩な企画展を通し、その魅力を紹介しています。

また、1月29日(水)からは、市内在住のオートマタ(自動機械)作家・原田和明さんの作品とコラボレーションした企画展を開催します。中也をモチーフに作られたオートマタがコミカルに動き、観る者を楽しませてくれます。その独創的な動きと詩が織りなすリズムを楽しみながら、中也の詩の世界を感じてみませんか。





イベントカレンダー

2/1 (土) ~ 9 (日)

第13回やまぐち新進アーティスト大賞ノミネート作品展

所 クリエイティブ・スペース赤れんが (ホールI)

問 文化交流課
☎ 083-934-2717

2/7 (金) ~ 11 (火・祝)

ショートフィルム フェスティバル in YCAM

所 山口情報芸術センター [YCAM]

問 山口市文化振興財団
☎ 083-920-6111

世界の短編映画を上映します。

2/8 (土)

第2回やまぐち伝統芸能フェス in YCAM

所 山口情報芸術センター [YCAM]
スタジオB・ホワイエ

問 文化交流課
☎ 083-934-4155

文化財指定の市内伝統芸能団体および山口・佐渡・佐賀の全国3カ所にしか残っていない鷺流狂言が一堂に会する特別公演を開催します。



2/14 (金)

~ 令和8年2/15 (日)

テーマ展示「郵便で御免下さい
—— 中原中也の手紙」

所 中原中也記念館
☎ 083-932-6430



友人や母に宛てた手紙を紹介しながら、手紙を通して見えてくる中也の意外な一面と、「手紙」がもつ面白さを紹介します。

2/16 (日)

れきみんファミリーデー

所 歴史民俗資料館
☎ 083-924-7001

2月のテーマは「炭火アイロン」です。

2/16 (日) ~ 3/31 (月)

山口の幕末の偉人5人をさがせ！
~ なぞとき十朋亭維新館めぐり ~

所 十朋亭維新館
☎ 083-902-1688

5題の“なぞとき”に挑戦して、十朋亭維新館内から「山口の幕末の偉人5人」のミニパネル5枚を見つけ出し、各パネルに示された文字を1文字ずつ集めてキーワードを完成させます。

2/23 (日・祝)

講座「興隆寺二月会の芸能を探る」

所 歴史民俗資料館
☎ 083-924-7001

大内氏、毛利氏が開催した興隆寺二月会で、用いられた装束と行われた芸能について考えます。(要事前申し込み)

開催中のイベント

2/11 (火・祝) まで

テーマ展示「空の歌」

所 中原中也記念館
☎ 083-932-6430



中原中也の詩に多く登場し、中也の詩の重要なモチーフである「空」について、さまざまな視点から紹介します。

2/28 (金) まで

「2025年を漢字一字で表す書道展」

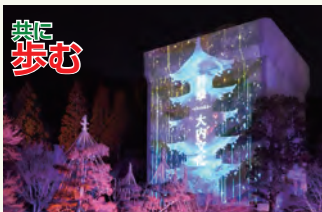
所 山口市菜香亭
☎ 083-934-3312

本市の魅力を広く多くの方に

早いもので、本市がニューヨーク・タイムズ紙に選出されてから1年がたちました。

本市のシンボルである国宝瑠璃光寺五重塔が約70年ぶりに檜皮葺屋根の葺き替え工事を行っている中、五重塔を覆うデザインシートをスクリーンに行ったプロジェクションマッピングは大好評をいただき、また11月のスイス観光賞の受賞もあり、おかげさまで本市を訪れる観光客数は緩やかに増えている状況にあります。

次のステップとして、こうした成果を、今年4月から開催される大阪・関西万博や、来年秋からの大型観光活動(デスティネーションキャンペーン)へつなげたいと思っています。



共に歩む

折しも、来月3月には山陽新幹線の全線開通から50周年を迎えます。開通当時、関西方面から多くの人の流れがこちらに向かったように、これから関西や広島まで来られた方々には、ぜひとも山口まで足を伸ばしていただけるよう、県や県内市町ともしっかりと協力をしながら取り組んでまいりたいと思います。

山口市長

伊藤和貴

